

HONDA



Integratyper.org

CIVIC
TYPE R



クルマのドライビングプレジャーを語る時、究極の愉しみと言えば、それはやはりサーキットの中に存在する。ドライバーのアクセルワークやハンドリングに、クルマが意のままに応える一体感。狙った走行ラインを、確実にトレースできるコントロールABILITY。そんなサーキットの走りを、より多くの人に味わっていただくために、ホダはレーシングカー開発の手法を市販車であるCIVICに

Born on the Circuit

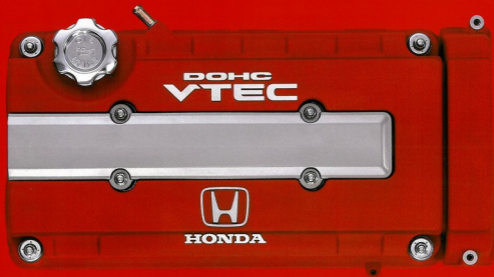
適用した。それが、レーシングカーテストと圧倒的なドライビングプレジャーの獲得をめざしたクルマ、CIVIC TYPE R。ホダがモータースポーツを通して培った高度なチューニングテクノロジーを盛り込み、テストコースにおける過酷な走行テストを経て運動性能を研ぎすましていった。いま、ドライビングの喜びを求めてやまない人に、この鍛え

Integratyper.org



Integratyper.org

DOHC VTEC B16B spec.R



Integratyper.org

ボンネットフードの下にひそむ赤いエンジンヘッドカバー、それはまさに、エンジンチューニングにおけるホンダの技術力と情熱の象徴といえる。CIVIC TYPE Rの熱きハート“B16B spec. R”。スポーツエンジンとして高く評価されている1.6 L DOHC VTECをベースとして、ホンダがモータースポーツで培ったチューニング技術を注ぎこみ、動力性能を躍えあげたパワーユニットである。最高出力は、136kW [185PS]/8,200rpm、リッター当たり85kW [116PS]のスペックは、自然吸気エンジンでは世界最高レベルに達している。そのチューニングは、バルブ、カムシャフト、ピストン、コンロッド、クランクシャフトの専用開発にはじまり、さまざまなフリクションの低減、軽量化など多岐にわたっている。特に吸気ポートは、エンジン一基ごと

どれほどパワフルなエンジンを搭載しても、パワーを効率よく路面に伝えて、的確なコーナリングフォースを生むシャシーがなければ、速く走ることはできない。そしてサスペンションチューンだけでなく、タイヤや空力性能などにも左右されるシャシーのセッティングは、非常に複雑かつ繊細な感覚が要求される。それは、人間の感性でしか評価・判断できない領域にまでおよぶ。そのためCIVIC TYPE Rでは、ホンダが長年熟成を重ねてきた4輪ダブルウィッシュボーン・サスペンションと、ボディ剛性を、国内サーキットやテストコースの徹底した走りこみを通してチューンしていった。コーナリング時の限界Gを高め、ステアリング操作にリニアに応答するフィーリングを求めて、低重心化とロール剛性強化を実施。スプリングレートやダンパー減衰力をチューンするとともに、前後荷重移動に対する優れたフロントの接地性を確保するサスペンションのハードセッティングもおこなっている。これらのチューニングが、ヘリカルLSDや専用ハイグリップタイヤとの相乗効果により、理想的とも言えるコーナリング性能を生みだしている。

B16B spec. R 1600 16-valve DOHC VTEC engine

Double wishbone suspension dampers and coil springs



Integratyper.org

Double Wishbone Suspension

1. Leather-wrapped MOMO steering wheel (φ368mm)
2. Titanium shift knob
3. Carbon fiber-finish meter panel
4. "CIVIC TYPE R" emblem



1



2



3



4

運転席のドアを開けると、熱い走りの情熱で染め上げたレッド&ブラックのインテリアが、ドライバーを静かに迎える。CIVIC TYPE Rは、心を高揚させる感覚性能という観点からコックピットを磨いている。しかも、実際にドライバーの手や身体に触れ、操作されるパーツは、その動き、素材・形状、レイアウトを、細部にわたって検証した。たとえば、ドライバースシート。走りというスポーツを堪能するためには、シートのホールド性が重視されることは言うまでもない。CIVIC TYPE Rでは、レーシングパーツとして評価の高いレカロ社製シートを採用しているが、サイド部の生地については、通常の仕様よりもさらにサポート性のよいオリジナルデザインのスウェード調ファブリックを使用している。サイド部分の生地によって、全体のホールド感に大きな違いが生まれる。これは、その製法もさることながら、非常に加工しにくい素材ではあるが、もたれてくるシートの感触と衝撃に

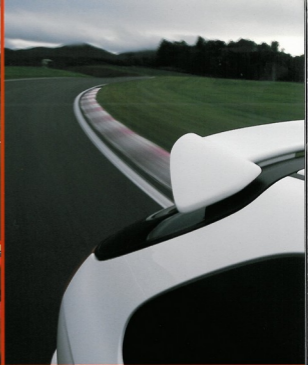


Integratyper.org

RECARO SEAT



Integratyper.org



Integratyper.org



Integratyper.org



Integratyper.org

Power Unit

リッター85kW(116PS)を獲得するB16B spec. R。赤いエンジンヘッドカバーが、卓越のポテンシャルを象徴する。CIVIC TYPE Rのワークユニット B16B spec. R。そのベースとなったのは、高い入力ポワの資質をそなえた1.6 L DOHC VTECエンジン。ホンダはそこに、独自のレーシングノウハウと、走りへの熱い思いを詰めこんだ。結果、自然吸気エンジンで世界最高レベルのリッター当たり85kW[116 PS]を達成。さらけて俊敏なレスポンスと、圧倒的な加速性を実現した。

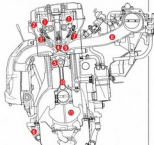
10000RPM

VTEC

B16B spec. R

MAX. POWER (NET)
136kW(185PS) @ 2,000rpm

MAX. TORQUE (NET)
160N·m(16.3kg·m) @ 7,500rpm



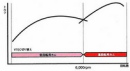
B16B spec. R
高出力・高回転化を推進する主なポイント

- ①カムシャフト
- ②広域角・長リフト対応、高剛性カムシャフト
- ③ロングストローク
- ④バルブトレイン強化
- ⑤カムシャフトバルブスプリング
- ⑥滑り付対応 二重化スプリング
- ⑦スローダウン プラチナメッキスプリング
- ⑧ピストン 高回転対応、手動クランクシャフト対応専用ピストン
- ⑨ピストンリングアップ
- ⑩アルミクランク高剛性一体型コクピーター
- ⑪バルブトレインバルブスプリング
- ⑫滑り付対応 機内専用二重化スプリング
- ⑬バルブトレイン調整機構 高回転対応バルブ
- ⑭クランクシャフト
- ⑮コネクティングロッド
- ⑯クランクシャフト
- ⑰クランクシャフト

ホンダ・チューンで磨きあげた動力性能。B16B spec. Rにおいてホンダ・チューンが目指したものは、さらなる高回転・高出力化によるクラス最速時のポテンシャル。そのための専用開発は、カムシャフト、バルブ、ピストン、コンロッド、バルブトレイン等8つの主要高回転化クランクシャフトなど、あらゆるパーツにおいて、重量生産工程の常識を超えるスペシャルチューンをおこなった。燃焼効率アップのために、圧縮比を10.8に高め、同時にバルブト量をチューニング。さらに、ピストンまわりをはじめとするさまざまなフリクションの低減、吸気ポートの高精度研磨。そして各部の軽量化。まさに、ホンダ・チューニングテクノロジーの粋を結集して磨いたB16B spec. R。高回転域まで一気に駆け上がる制動力、強力トルクが走りのお楽しみを伸ばす。



インレットバルブを磨き出し、さらにバルブ、ピストンなどに最適なバルブスプリングを装着。



3バルブは、1,000回転付近でピークを過ぎ、7,000回転を超えて再び上昇。次のピークを迎え、ハイパワーを得るために回転限界を高める。高トルクを高回転で発生させるこのチューニングは、自然吸気によるバルブのクランクシャフトを切り替えるVTEC機構こそ可能となった。

効率を高めたエキゾーストシステム。大径のエキゾーストパイプに加えて、サブチャンバーを採用。流量を大きくしてスムーズな排気を実現している。その實質にもこだわり、スポーツマインドを熱くする重低音のエキゾーストサウンドを追求した。

ひとききスポーティなシフトフィーリング。トランスミッションの2速にダブルコンシンクロを採用し、またシフトロックも短縮。手首の動きでカチッと決まるシフト感覚が、ドライバーの走りりに呼応する。

Foot Work

サーキットチューンのサスペンション。レーシングタイプあふれる操縦性を求める、サスペンションを専用開発。基本としては、ホンダこだわりの脱力、基本を重ねてきた4輪ダブルリンクボーンサスペンション。そのスプリングレート、ダンパー減衰力、スタビライザーを総合的に強化。ロール剛性を高めることで路面との優れた接地性を得るとも、車高ダウンによりロール特性を向上させている。その他、ブッシュ類の硬度変更など、細部にわたるチューニングを実施。優れた応答性・収束性と、高い限界性能を実現している。TYPE Rで体感するリアでダイナミックなコーナリング、それはまさに、レーシングスピリットとの出会いと見える。

4 Wheel Double Wishbone Suspension



サーキット走行にこだるブレーキ性能。走る性能を高めることは、止まる性能を高めることでもある。CIVIC TYPE Rのブレーキは、フロント15インチ、リア14インチの大径ディスクを採用。優れた制動力と耐フェード性に加え、きめ細かな剛性のあるブレーキフィリングを得ている。また、ブレーキペダルとアクセルペダルの設置や位置関係を最適にチューニングし、ヒール＆トゥの操作感を向上させている。



TYPE R専用のタイヤ&ホイール。クルマと路面との接点となるタイヤは、加速、減速、コーナリングなど、あらゆる走りに影響を与える。TYPE Rにはここにも非凡な性能を求め、専用開発されたハイグリップタイヤ、POTENZA RE001(195/55R15 84V)を装着した。またアルミホイールは、軽量でありながら剛性も高い5スポークタイプ。チャンピオンリングの専用色が、スポーツマインドをお呼びく主張している。



コーナリング性能を高くし、ヘリカルLSD。

コーナーでの立ち上がり鋭さは、走りのポテンシャルに大きく影響を与える。そのためCIVIC TYPE Rでは、左右駆動輪の回転差補正と、最適なトルク配分を瞬時にこなすトルク感受型ヘリカルLSD(リミテッドスリップデフ)を搭載した。シッシーにはLSD効果を生かす最適なセッティングが与えられ、脱周性能の向上とシャープな立ち上がり加速をもとに実現。走りにワンステップも押さへるとも、俊敏な走りをひたしたい。



Cockpit Body & Safety

走りの情熱にあふれたコックピット。

心を高まらせる感覚性能と操作性を兼ね、走りのしなりを表現する。そんな観点から仕込まれたTYPE Rのコックピット。真赤なカラーシートに、レッド＆ブラックのインテリジェントメーターパネル、レッドメーターパネルには特撰カーボニックステアラーを施している。この際で、レーシングスピリットはさらに熱くなる。

レカロ社製バケットシートを採用。

CIVIC TYPE Rの走りへのこだわりは、シートにも反映されている。フロントシートには、ハードなコーナリング時にも、優れたホールド性を発揮するレカロ社製バケットシートを採用。しかもサイド下部に、よりサポート性を高めるオリジナルデザインのスイートグリップファブリックを使用した。シートに覆げば、心地よくポジションが高められている。

MOMO社製の小径ステアリングホイール。

クイックな操作感覚を求めて、ステアリングホイールはMOMO社製革巻3本スポークを採用。SRSエアバッグを内蔵して、直径368mm(非装巻タイプは350mm)という小径タイプである。また、ハースステアリングは、特に中高速走行時や高いGを受けた際の操舵能力が豊富なセッティングとした。このチューニングと合わせて、コーナリング時には、ひとときダイレクトな操舵感を体感できる。



標準装備の
SRSエアバッグシステム
革巻3本スポーク
レカロシート(フロント)

操舵感を追求したチタン製フロントノブ。

フロントノブはCIVIC TYPE R専用チタン彫り出しタイプ。重心、角度、操舵感、握った際の感触などをきめ細かく追求した。ショートストロークチタンノブの重みが高まって、かつりとした小気味よいシフト感覚を生んでいる。

磨きぬいたボディ性能。

走りを磨くうえで、速力、剛性、軽量化、衝突安全性などに関わるボディ性能を欠くことはできない。TYPE Rは、スポーツ走行を前提とした条件の中でボディ性能を徹底的に検証。エクステリアの精悍な印象は、まさにそのボディ性能の象徴と言える。



フロントアンダースポイラー(L) 大型リアスポイラー(T)

高速安定性を目指した空力ボディ。

高度な操縦安定性を求めて空力性能も磨いたTYPE R。フロントアンダースポイラー、リアスポイラー、リアアンダースポイラーをまとい、さらに車高をダウンさせた空力ボディを採用している。しかも風洞実験やサーキット走行テストを繰り返して、優れたCD値を維持しながらCL値(揚力係数:ボディを持ち上げようとする力の値)を低減。最適な空力バランスを生んでいる。特に高速コーナリングにおけるリアの接地感が向上し、路面に吸いつくような走りをもたらしている。

走りをさらさら。ボディ剛性。

スポーツ走行におけるマシンのコントロールビリティを高めるカギは、ボディ剛性だ。CIVIC TYPE Rは、特に限界走行時の剛性感向上を目指し、ボディ各部をチューニングした。ナースコースの走り込みに加え、ゆたかなレーシングノブハウを惜しみなく投入することにより、ベースとなった高剛性モノコックボディに対して、TYPE Rは大幅なねじり剛性を高めたという。フロントストラットタワーとセンターゲートと両側の懸架をアップし、フロントまわり、リアまわりには、それぞれ

れパフォーマンスロッドを追加。さらにサブペンション取り付け部を強化している。特にリア剛性がTYPE Rでは大幅に高められ、コーナリング時などに、その性能を実感できる。

軽量化と剛性アップの両立。

出力や走行性能の向上にとどまらず、各部を強化していくと必然的に重量が増す。いっぽう、加速性能、制動性能、コントロール性などを高めるためには、軽量化は絶対的な条件となる。この相反する課題を両立させるために、CIVIC TYPE Rでは、ホンダがレースで培ったノウハウを生かし、細部における軽量化を実施。エンジン本体の軽量化に加えて、軽量ファイバーホールの採用、バネツリーの小型化などにより、エンジンルーム全体の重量を軽減している。さらにフロアおわりを中心とした部材のシェイプアップ、造音材の軽減、装飾のオプション化などにより、ボディの軽量化も達成。その成果は、加加速性能やコーナリング性能にあらわれ、CIVIC TYPE Rならではのポテンシャルを生みだしている。

高い運動性能と良好な視界の確保など

事故を未然に防ぐための安全技術＝アクティブセーフティと、万一の際にも守るための安全技術＝パッシブセーフティの両面から追求している。

スポーティセッティングのABSを標準装備。

滑りやすい路面で急ブレーキをかけた場合、コンピュータが車輪ロックを防止。ハンドリングによる危険回避能力を確保する。CIVIC TYPE R用にスポーティなセッティングをおこなっている。(※オプションも設定)

「体感する安全」をテーマにした安全運転の普及と向上

クルマそのものの安全性の追求といったハード面にとどまらず、ソフト面からも総合的に追求。クルマに関わる人々とともに、クルマの楽しさと安全性を理解していくという積極的な姿勢——それがホンダのセーフティです。

- 安全情報提供活動
クルマの「知識」を教員、「運転技術」「安全技術」についての正しい理解と普及活動
安全小冊子「セーフティドライブ」(セーフティポイント)を全ホнда店に配備
- 実践的な安全運転トレーニング(交通安全教育センター)
お車ご購入後のドライビング・スキル研修 企業内運転従事者の安全運転講習
- 財団法人「国際交通安全学会」の研究活動への支援

世界水準の衝突安全性。

走行性能向上に寄与するボディ剛性のアップとともに、万一の衝突時にエネルギーを効率的に分散・吸収するクラッシュパブル構造を採用。またフルラップ正面衝突の他、オフセット正面衝突、側面衝突、後面衝突、ロールオーバーなどに対して高度化したテストをおこないい、キャビンの生存空間を確保するための設計を追求している。

運転席用と助手席用

SRSエアバッグシステムを標準装備。万一の際、前方方向からの設定以上の衝撃には、SRSエアバッグシステムが作動する。衝撃を感じたとき、瞬時にエアバッグが膨張・収縮。顔面などへの衝撃を緩和する。もちろんシートベルト着用が前提であることは言うまでもない。

(※オプションも設定)



エアバッグ作動時の写真(左側は右側と反対)。(注:オプションも設定)

SRS-Supplemental Restraint System

シートベルトを適切に使用し乗員は乗車時には必ずシートベルトを正しく着用してください。シートベルトの正しい着用方法は必ずしも着用しただけでは、設置位置や姿勢を感知したためにより、SRSエアバッグシステムは、あくまでもシートベルトを併用する必要があると想定されています。(注:左側は右側と反対の正しい着用をおこなってください)

ABS-Anti-Lock Brake System

4輪ディスクブレーキシステム
ABSは、あくまでもドライバーのブレーキ操作を補助するシステムです。したがって、ABSがない車速と同様に、コーナリング時や急ブレーキをかけたときなどには必ずしもABSが作動していません。安全運転をお願いします。



Integratyper.org

Photo: メーカーオプション(コフォートパッケージ)装着車

CIVIC TYPE R-X

コクピットに着いた瞬間から心を解放するRシビック タイプ R-エックス

TYPE R独自の乗り心地に、コクピットから

専用ステアリングホイール



専用スポーツペダル



専用オーディオ



専用高級電動調整のスポーツシート



スピードはひかえめに、シートベルトを締めて安全運転。

- 交通法規を守り、心に余裕をもって安全運転を心がけてください。
 - 乗車中は必ずシートベルトを正しく着用しましょう。
 - SRSエアバッグシステムを装着した車に乗る際も必ずシートベルトを着用してください。
- SRSエアバッグシステムは、シートベルトを正しく着用することで本来の効果を発揮します。

安全で快適なカーライフのために。

- 保証期間は、新車登録日から3年間、ただし、その期間内でも走行60,000kmまでです。また、ホンダが特に指定した部品は5年間、ただし、その期間内でも走行100,000kmまでです。なお、保証内容は保証書、またはホンダ販売店にてお確かめください。
- 安心できるカーライフのために、自賠責保険だけでなく、任意保険への加入をおすすめします。

貴重な資源を大切に。燃費向上運転をお願いします。

- 軽車時にはエンジンをとめましょう。
- 急発進・急加速を避けましょう。
- 日頃使わない・荷物を載せたまま走るのはやめましょう。

人、地球に「夢・発見・ドラマ」を。

キャンシバックス＆チャリティ
ホンダCカード


便利とお得がグーンとふえた！
毎日のお買い物も、ポイントになって
キャンシバックスされます。

もっと便利
今夏はホンダ2輪販売店でも使える！

もっとお得
今夏はクルマの車検時にも、バイクの車検時にも
キャンシバックスされる！

【毎月のCカードで、チャリティ活動にも参加いただけます。】

会員募集中



充実のカーライフをサポートする、 ホンダのネットワーク。

快適で、しかも魅力的なカーライフを満喫していただきたい。
そんな願いから、ホンダプリモ店では、
お客様に満足していただけるサービスを、さまざまな分野から
提供させていただくために、
そのネットワークの質を、日々、広げています。

HONDA DRIVING SCHOOL

●初心者の方からベテランの方まで、無理なく運転の技術とセンスを高めていただける、ホンダ独自のカリキュラムによるドライビングスクールです。



HONDA CREDIT

●ホンダプリモ店では、快適なカーライフの手伝いとして、「ホンダクレジット」をご利用いただき、**ホンダクレジット**をご利用ください。
クレジットはご来店時、ご契約が可能です。



HONDA CAR LEASE

●ホンダリースは、個人・法人にかかわらず、安全の有効な活用はもたらし、経費処理も可能な注目車のカーリース・システムです。



HONDA CAR ACCESSORIES

●カーライフを個性的に演出していただけるよう、ホンダアクセスでは、ホンダ車との同時一体開発によるベストフィットデザインと高い機能性をもつカーアクセサリーをお届けしております。



FASHION & GOODS

●ホンダモーターズスポーツのスピリットが息づく「ホンダコレクション」のウェア&グッズは、ホンダダイレクトマーケティングがお届けしております。



詳しくはホンダプリモ店にお問い合わせください。

Integratype

※お問い合わせご対応は、お近くのホンダプリモ店、または下記お客様相談センターまで。
お客様相談センター お客様相談センター
全国共通フリーダイヤル ☎0120-11010(受付時間：9時～19時) ☎03-6748-1101

■インターネットでシビックの情報をお伝えしております。
シビックホームページ <http://www.honda.co.jp/CIVIC/>



ホンダプリモ・プラザ浜松

浜松市須永三丁目2-12 TEL.434-8500

このカタログは、

HONDA